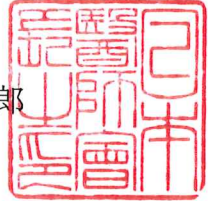


日医発第 1071 号 (生教)
令和 5 年 9 月 19 日

日本医学会分科会長
大学院医学系研究科長／大学医学部長・医科大学長
大学附属病院長
関係機関長
都道府県医師会長 殿

日本医師会長

松本 吉郎



2023 年度日本医師会医学賞ならびに医学研究奨励賞
受賞者決定の報告について

先般、貴職あて推薦をお願い申し上げました標記両賞につきましては、医学賞 23 件、医学研究奨励賞 33 件のご推薦をいただきました。ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

去る 8 月 25 日開催の 2023 年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会において審議の結果、別紙のとおり受賞者を決定いたしましたのでご報告いたします。

今後とも一層のご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023 年度日本医師会医学賞

神経回路の可視化技術の開発とその応用	岡部 繁男 東大・解剖学
国民の健康・安全に資する睡眠面からの予防医学研究の推進	谷川 武 順天堂大・公衆衛生学
2型糖尿病の分子病態解明とそれに基づく治療法の開発	植木浩二郎 国立国際医療研究セ・糖尿病代謝
難治性眼疾患に対する基礎研究から新規再生医療の開発と実用化	西田 幸二 阪大・眼科学

2023 年度日本医師会医学研究奨励賞

RNA 修飾を基軸とした生体恒常性維持の解明	小川亜希子 東北大加齢医学研究所・モドミクス医学
内分泌因子の破綻に基づくヒト NASH 進展機構の解明	武部 貴則 阪大・ゲノム生物学
単一核メチローム, トランスクリプトーム解析による孤発性筋萎縮性側索硬化症の病態解明	小池 佑佳 新潟大脳研究所・分子神経疾患資源解析学
機械学習の手法を用いた生活保護受給者への効果的な健康支援アルゴリズムの開発	西岡 大輔 大阪医薬大・公衆衛生学
機械学習と因果推論を用いた次世代の個別化医療戦略「高ベネフィット・アプローチ」の確立	井上 浩輔 京大・社会疫学
因果関係に迫る疫学理論の構築とデータ分析	鈴木 越治 岡山大・疫学
先端ゲノム技術を用いた末梢性 T 細胞性リンパ腫における分子病態と臨床的意義の解明	片岡 圭亮 慶大・血液・内科学

難治性拡張型心筋症に対する塩基編集を用いた新規治療基盤の構築	西山崇比古 慶大・循環器内科学
サルコペニアをはじめとする糖尿病併存症の遺伝的背景の解明とバイオマーカーの探索	笹子 敬洋 東大・糖尿病・代謝内科学
患者由来オルガノイドを用いた慢性腎臓病の病態解明	森 雄太郎 東医歯大・腎臓内科学
関節リウマチの発症に関わる T 細胞受容体の配列パターンの同定	石垣 和慶 理化学研究所生命医科学研究セ ・ヒト免疫遺伝
新規肝臓内免疫スコアの開発と消化器癌症例への臨床的応用	今岡 祐輝 広島大・消化器・移植外科学
椎間板性疼痛に対する超高純度間葉系幹細胞とソフトバイオマテリアルを用いたリバーstransレーショナルアプローチ	山田 勝久 北大・脊椎脊髄外科学
花粉症と口腔アレルギー症候群の克服を目指した新規治療戦略	亀倉 隆太 札医大・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
糖尿病網膜症の慢性化を遮断する治療法の開発	福嶋 葉子 阪大・眼科学